

# 2017NAVI ミニムキャンプ(小5)報告

(公社) 日本フェンシング協会  
育成・普及委員会



当事業の謝金、旅費、使用料等の一部は、  
スポーツ振興くじ (toto) の助成によって  
まかなわれています。

## 1. 会場

〒297-0201 千葉県長生郡長柄町上野 521-4 (生命の森リゾート)  
日本メディカルトレーニングセンター TEL 0475-35-3333

## 2. 実施期日及び参加者

	男子	女子	計
・小学5年生の部 2017年8月1日(火)～8月3日(木)	23名	8名	31名

## 3. 指導者

田中由美子 (FJE 理事) 岡崎直人 (メインコーチ・警視庁)  
佐藤秀明 (FJE 情報戦略委員) 池田めぐみ (FJE アンチドーピング委員)  
吉澤博通 (FJE 育成委員) 添田康雄 (FJE 育成委員) 齊藤三枝子 (FJE 育成委員)  
岩橋恵美 (FJE 育成委員) 加藤 宙 (FJE 育成委員)  
榎本薫人 (青山学院大コーチ) 北田 葵 (宮城県 F 協会) 福島涼香 (慶応大学)

## 4. 研修内容

### (1) 1日目 (8月1日)

- アイスブレイキング
- ウォームアップ



### ○保護者説明会の実施

日本フェンシング協会の選手育成システムと NAVI の役割  
選手育成システムにおけるミニムキャンプの位置づけ  
ミニム選手育成と保護者へのお願いと期待

### ○ファントの撮影 (動画)

- ・全員のファントを正面・真横から撮影

### ○レッスン (基本の確認)

- ・ストレートとデガジェ。  
パレーカルトとパレーシクスト等。



### ○栄養指導

望ましいアスリートの食事 (主食、主菜、副菜を食べる。カラフルに揃える)

### 楽しいおやつタイム



### (2) 2日目 (8月2日)

### ○映像分析 (動画)

- ・全員を撮影、映像を見ながらコーチより一人一人のファントに対してコメント

### ○ルール講習

違反と罰則を知る

### ○レッスン (フラーズダルムとアタックのタイミング)

### 講義も真剣に受けました

(3) 3日目 (8月3日)

○試合

男子 予選6人プール：5本勝負  
決勝トーナメント8人：10本勝負

女子 予選7人総当たりプール  
決勝トーナメント4人：10本勝負



○保護者アンチドーピング研修の実施

## 5. 所感

今年のミニムキャンプも生命の森リゾート・日本メディカルトレーニングセンターで実施した。ここでのミニムキャンプも3年目なので、会場スタッフとも顔なじみとなり、いろいろと便宜を図ってくれた。今年はハイブリッドピストは使わず、養生テープでピストを作って試合やファイティングをさせたが、問題なく実施できた。

今回も、情報戦略スタッフによる映像分析を取り入れた。選手全員のファエントの動画を正面と真横から撮影して映し、コーチが一人一人の映像に対しコメントした。5年生にとって初めて自分のファエントを客観的に見る機会となり、自分のファエントの長所や短所を確認する良い機会となった。

また、保護者対象にアンチドーピングの研修を実施した。まだまだ、ドーピング問題はほど遠い話と思っていた保護者も、わかりやすい説明で身近な問題と認識を新たにしたいようであった。

メインの実技は、フラーズダルムをわかりやすく実施した。アタックの意味と剣のやりとりを学び、アタックのチャンスを生み出すフットワークの練習をした。また、相手との動きの中で、アタックとなるタイミングをレッスンを通して指導した。

初めての合宿という選手が多い5年生だが、コーチの指示に従い真剣に取り組んでいた。しかし、フェンシング技術のレベル差は大きく、指導内容の選定に難しさが感じられた。レベルを揃えるため、学年で区切るのではなく、経験年数で区切って募集する方法もあるが、その年代の選手が集まって、切磋琢磨しながら向上していくことも重要である。このキャンプを通して全国のフェンシング仲間と知り合い、時にはライバルとして時には仲間として共に向上を目指すことを大事にしていきたい。